

地震被害調査し、市長への項目要望

元日の午後4時10分頃発生した能登半島地震は、上越市内で震度5強の揺れを引き起こし、津波も襲いました。これらにより市内でも大きな被害が発生し、市民の暮らしや営業などに大きな影響を与えています。

日本共産党議員団は、被害調査などで市民から寄せられた要望をまとめ、8日、中川市長に対する要望書を防災危機管理部長を通じて提出しました。

以下は、その要望書のなかから一部を抜き出したものです。全文は私のブログ、「ホーセの見たる記3」に載せてありますので、ご覧下さい。

- ◆住宅応急修理制度について、市独自の予算措置を講じるなどして、一部損壊の家屋も対象とするよう。
- ◆被害を受けた住宅等の調査にあたっては、屋内の破損状態も調査するよう。



- ◆市登録文化財の損壊または一部損壊への支援を行うこと。

- ◆家庭から出た災害ごみ処分費用の減免の期間を、降雪期で作業が滞ることを踏まえてあらかじめ延長するよう。

- ◆家庭から出た災害ごみの処分費用の減免の対象を、自身で運ぶことができない場合、運搬を一般廃棄物収集運搬許可業者に限定せず、ある程度緩和すること。

- ◆小規模事業者においても、「災害により発生した家庭ごみの処分費用の減免」と同様の減免を行うこと。

- ◆小規模事業者の地震による施設・設備の被害に対し、支援を行うこと。

- ◆自家用車で避難する市民が多く、その誘導が必要であることを踏まえ、各指定避難所の担当職員の見数を増やすこと。

- ◆暖房器具の燃料等を含めすべての必要な物資が準備されていることを事前に確認すること。一部の物資の保管場所が別室等である場合、担当職員が保管場所を開錠しすぐに避難室に運搬し使用できるようにするよう。

- ◆各避難所に情報源(テレビ、ラジオ)等を準備し、常に使用できる状態を保つこと。

- ◆屋外の避難者にも、支援物資の配給を即時に行うこと。

- ◆避難者の想定数を今回の避難実態に即して見直し、備蓄品の数量を抜本的に増やすこと。

- ◆自家用車による避難の実態を検証し、その結果に対応した手立てを講じること。
- ◆漁業者については、その多くが高齢



【ミツマタ】ジンチョウゲ科の落葉低木。漢字で「三桠」と書きます。いまは花芽の段階で、多数のつぼみが下向きについています。今の状況が長く続き、3月から4月に黄色の花を咲かせます。花言葉は「強靱」「肉親の絆」です。いうまでもなく、一年枝の樹皮は和紙などの原料となります。写真は1月10日、吉川区にて。

化し今後の漁業継続が危ぶまれている中で被災したことを踏まえ、津波によって破損・流出した漁網やコンテナ等の漁業用具の買い換え費用を支給することをはじめ、漁業の継続が可能になるような支援を行うこと。

◆柏崎刈羽原発では、燃料プールの水があふれるなどの重大なトラブルが起ったことが報道されているが、市として、同原発で起こったトラブルについてすべてのことをすみやかに正確に公表することを東京電力(株)に求めること。

津波被害の酷さに驚愕

日本共産党市議団は地震発生当日は避難所などに駆け付け、避難者などの要望を聞き取り、行政につなげました。また、翌日からは馬場秀幸県議や藤野保史前衆院議員などと協力し、市内各地の被災現場をまわって調査するとともに、関係者の要望を聞いてきました。大潟漁港被害(写真左)の視察、関川河口付近の津波被害聞き取り(イラスト)で、日本海側でも大きな津波被害が出ることを確認しました。

3月議会では今回の地震被害、対応を検証し、災害に強いまちづくりに向けて頑張っていきます。

※柿崎区など一部地域では被害状況の一部を前号にてお知らせしました。重複もありますが、ご了承下さい。



はしづめ法一の
活動レポート

No.2141 2024.1.14

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見たる記」は
← こちら

橋爪法一

検索

地震被害調査し、市長への項目要望

元日の午後4時10分頃発生した能登半島地震は、上越市内で震度5強の揺れを引き起こし、津波も襲いました。これらにより市内でも大きな被害が発生し、市民の暮らしや営業などに大きな影響を与えています。

日本共産党議員団は、被害調査などで市民から寄せられた要望をまとめ、8日、中川市長に対する要望書を防災危機管理部長を通じて提出しました。

以下は、その要望書のなかから一部を抜き出したものです。全文は私のブログ、「ホーセの見たる記3」に載せてありますので、ご覧下さい。

- ◆住宅応急修理制度について、市独自の予算措置を講じるなどして、一部損壊の家屋も対象とするよう。
- ◆被害を受けた住宅等の調査にあつては、屋内の破損状態も調査するよう。

- ◆市登録文化財の損壊または一部損壊への支援を行うこと。

- ◆家庭から出た災害ごみ処分費用の減免の期間を、降雪期で作業が滞ることを踏まえてあらかじめ延長するよう。

- ◆家庭から出た災害ごみの処分費用の減免の対象を、自身で運ぶことができない場合、運搬を一般廃棄物収集運搬許可業者に限定せず、ある程度緩和すること。

- ◆小規模事業者においても、「災害により発生した家庭ごみの処分費用の減免」と同様の減免を行うこと。

- ◆小規模事業者の地震による施設・設備の被害に対し、支援を行うこと。

- ◆自家用車で避難する市民が多く、その誘導が必要であることを踏まえ、各指定避難所の担当職員の見数を増やすこと。

- ◆暖房器具の燃料等を含めすべての必要な物資が準備されていることを事前に確認すること。一部の物資の保管場所が別室等である場合、担当職員が保管場所を開錠しすぐに避難室に運搬し使用できるようにするよう。

- ◆各避難所に情報源（テレビ、ラジオ）等を準備し、常に使用できる状態を保つこと。

- ◆屋外の避難者にも、支援物資の配給を即時に行うこと。

- ◆避難者の想定数を今回の避難実態に即して見直し、備蓄品の数量を抜本的に増やすこと。

- ◆自家用車による避難の実態を検証し、その結果に対応した手立てを講じること。

- ◆漁業者については、その多くが高齢



【ミツマタ】 シンチョウゲ科の落葉低木。漢字で「三桠」と書きます。いまは花芽の段階で、多数のつぼみが下向きについています。今の状況が長く続き、3月から4月に黄色の花を咲かせます。花言葉は「強靱」「肉親の絆」です。いうまでもなく、一年枝の樹皮は和紙などの原料となります。写真は1月10日、吉川区にて。

化し今後の漁業継続が危ぶまれている中で被災したことを踏まえ、津波によって破損・流出した漁網やコンテナ等の漁業用具の買い換え費用を支給することをはじめ、漁業の継続が可能になるような支援を行うこと。

◆柏崎刈羽原発では、燃料プールの水があふれるなどの重大なトラブルが起ったことが報道されているが、市として、同原発で起こったトラブルについてすべてのことをすみやかに正確に公表することを東京電力(株)に求めること。

津波被害の酷さに驚か

日本共産党市議団は地震発生当日は避難所などに駆け付け、避難者などの要望を聞き取り、行政につなげました。また、翌日からは馬場秀幸県議や藤野保史前衆院議員などと協力し、市内各地の被災現場をまわって調査するとともに、関係者の要望を聞いてきました。大潟漁港被害の視察、関川河口付近の津波被害聞き取りで、日本海側でも大きな津波被害が出ることを確認しました。

3月議会では今回の地震被害、対応を検証し、災害に強いまちづくりに向けて頑張っていく予定です。

※柿崎区など一部地域では被害状況の一部を前号にてお知らせしました。重複もありますが、ご承知ください。

県道13号線、板山で崩落

11日の午後1時半頃、大島区板山の田麦川沿いの主要地方道上越安塚柏崎線（13号線）の一部が崩落しました。

規模は私の目測で、幅約3㍍、長さ約30㍍、高さ約30㍍。小山建設からの連絡を受けて、現地には、すぐに土木事務所が入り調査、私も午後3時前に現地に入りました。崩落の規模は大きいですが大事な道路です。早期に復旧させたいものです。頑張りましょう。11日の夕方現在、現地は通行止です。



はしづめ法一の活動レポート

No.2141 2024.1.14

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たる記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七八八回 やさしい笑顔

旧源中学校の同級生のなかでもぴかーの笑顔の持ち主は大潟区に住むミツコさんです。震災から一週間ほど経った日の午後、久しぶりに訪ねてきました。

突然の訪問でしたが、幸運にも在宅でした。インターホンで「ごめん下さい、橋爪です」と声をかけると、お連れ合いのヨシカズさんが玄関を開け、「さあさ、入ってください」と言い、居間に案内してもらいました。

ヨシカズさんも中学校の同級生です。ヨシカズさんの後ろから居間に入らせてもらったら、居間の奥にあるキッチンにミツコさんがいて、「まあ、うれしい」と笑顔で迎えてくれました。

「麦茶でいいかしら」と訊(き)かれたので、「おれは煎茶よりも番茶が麦茶がいいんだわ」と答えると、ミツコさんはニコニコして運んでくれました。「ミツコさん、いつまでも若いね」と言ったら、自分のほっぺを両手で支え、「若いでしょう」と言ってまた笑いました。

お茶をご馳走になりながら最初に話題になったのは元日の地震です。地震発生時、私は吉川区米山にある中野生悦さん(故人)の句碑の前について、激しい揺れに恐怖を感じたのですが、二人は自宅にいたとのことでした。二人の家は海から近いものが高台にあり、津波の心配はありません。でも、地震の恐怖は私と同じでした。

私からは、地震発生後、いったん自宅に戻って、その後、吉川区の総合事務所に駆け付けたり、駐車場に次から次へと避難する車がやってきたこと、大潟漁港など日本海側の津波被害を初めて見たことなどを伝えると二人は興味深く聞いてくれました。ひとしきり地震のお互いの情報を話し合ったあと、ヨシカズさんは、「おまんもたいへんだったね」と言って、昨年の一〇月に亡くなった弟のことを話してくれ

ました。

うれしかったのは、亡くなる前日、喪服姿の弟をヨシカズさんが大潟区で見かけたという話です。ヨシカズさんは、「何があつたんだろうか」と思ったそうですが、たぶん、母の一周忌法要に出るために、自宅近くを歩いていたのだと思います。

「あんなに元気そうに動いていなかったすけ、信じらんねかった」と言われました。弟のことについては、「頼んでおいた仕事のことであつたばかりだった」など亡くなる前日の情報をいくつも聞いていました。またしても前日情報が入り、胸がいっぱいになりました。

同級生同士で会って話をすると、必ず、同級生の近況が話題となります。ヨシカズさんは、「柿崎のナルスでカヲルさんに会った」と教えてくれました。「あの人、いくつになって同じ顔していて、年とらんよね」と応じました。

その後は、三人で、「川袋(出身)のヨウコさんと電話で話した」「サチコさんと「割烹やまろく」さんで会ったけど、その後、どうしているかね」「シヨウイチくんの奥さんから初めて年賀状もらった」「ヒサシくんは兄さんが亡くなってから、こっちへ来てなんねみてだ」「チエコさんからは最近、はがき来ない」などと時間を忘れておしゃべりしました。

四〇分ほどおしゃべりして、外に出たのですが、二人とも車の近くまで来て、見送りしてくれました。この時のミツコさんの笑顔がまた素敵でした。

ミツコさんは地元で同級会をやると、遠方からやってきた同級生に「お帰りなさい」と言って笑顔で迎えるやさしい人です。今回の訪問でわかったのですが、彼女の笑顔は一段とやさしさが増したものでなっていました。この笑顔に出会っただけで元気になります。

ニュースフラッシュ

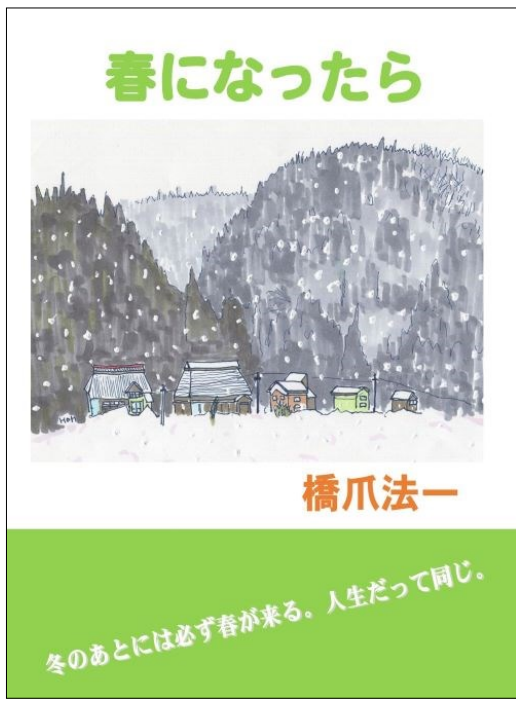
新エッセイ集『春になったら』 今月下旬に刊行予定

私の11冊目のエッセイ集『春になったら』を今月下旬に刊行する予定です。今回のエッセイ集は、2018年8月から2020年2月までに書いたエッセイの中から、「千本桜」「弟の帰省」「花が喜ぶ」など60篇を選んで編集しました。今回もアマゾンを使っての注文印刷方式で出版します。定価は1595円の予定です。

上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	12月25日(月)	1月10日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.033	0.050
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.063	0.070
東頸消防署	0.040	0.053
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.053	0.053



4年ぶりに「新春の集い」(議会報告)開催へ

4年ぶりに「新春の集い」(議会報告が中心)を開催します。上越市政のことがメインですが、馬場県議による県政報告もあります。お楽しみ会も行いますので、ぜひお出かけください。画像は4年前のものです。

日時：2月4日(日)午後1時半から
会場：吉川多目的集会場
会費：1000円。
お申し込みは30日までに私、橋爪か赤旗配達員へお願いします。